

平成22年度 社団法人砂防学会 会員実勢

(会員種別)	【参考】		
	平成22年度期首 (人数)	平成21年度期首 (人数)	増減 (人数)
正会員	2058	2163	-105
個人 国内	1815	1905	-90
個人 海外	18	14	4
法人等団体	225	244	-19
名誉会員	8	8	0
学生会員	110	90	20
賛助会員	217	237	-20
特級	21	20	-1
一級	33	36	-3
二級	54	59	-5
三級	111	122	-11

# 平成21年度 事業報告

自 平成21年4月1日

至 平成22年3月31日

## I. 研究活動

### (1) 研究発表会の開催

平成21年5月27日広島県・広島市「広島アステールプラザ」において開催された平成21年度(社)砂防学会通常総会に引き続き、27日、28日に研究発表会、29日に研修会(宮島庭園砂防コースおよび平成11年6.29災害復旧事業コース)を実施した。研究発表会では、テーマ別セッション、一般口頭発表、ポスターセッションの4形式を取り、企画セッションとして「平成11年6.29広島県土砂災害から10年—土砂災害防止に向けた取組の評価と課題—」、テーマ別セッションとして、「最近の地震による土砂災害とその対策」、「流出特性から見た崩壊・土石流の危険度判定」、「土砂災害警戒情報の現状と課題」の各セッションを行い、一般口頭発表として、警戒避難、砂防計画、構造物、砂防事業、斜面崩壊、水文、管理・計測、雪崩、土砂流出、土石流、環境砂防、地震、斜面安定、地すべり、緑化・森林管理、火山地域での土砂災害対策の各セッションを行った。本研究発表会では、企画セッションと「土砂災害警戒情報の現状と課題」のセッションが一般公開された。

### (2) シンポジウムの開催

平成21年11月4日、岩手県一関市「一関文化センター大ホール」において、第41回(社)砂防学会シンポジウム(テーマ:「中山間地域における大規模地震と土砂災害」)を開催した。引き続き5日には現地見学会を実施した。

### (3) 平成21年度若手研究助成の実施

4課題の若手研究助成を採択し実施した。(課題名、代表者名)

① 「山岳地での凍結融解による土砂生産の地上観測手法」

代表: 松田 悟 (筑波大学第二学群生物資源学類)

② 「山地流域における土砂滞留時間の推定方法の開発」

代表: 福山 泰治郎 (金沢大学環日本海域環境研究センター)

③ 「高密度観測網による山地斜面の水文過程及び崩壊発生プロセスの解明」

代表: 正岡 直也 (京都大学大学院農学研究科森林科学専攻)

④ 「高精度DEMを用いた表層崩壊の発生予測精度の向上に関する研究」

代表: 藤本 将光 (京都大学大学院農学研究科森林科学専攻)

## II. 国際学術交流

### (1) 莫拉克(モーラコット)台風による大規模土砂災害の現地調査と災害対応セミナー

(社)全国治水砂防協会、台湾・中華水土保持学会並びに中華防災学会の要請を受けて、平成21年10月11日から17日まで、莫拉克(モーラコット)台風による大規模土砂災害の現地調査と災害対応セミナーに砂防学会員2名を台湾に派遣した。なお、本調査とセミナーには

(社) 土木学会、(社) 日本地すべり学会、国と県の行政機関、砂防関係団体の砂防技術者の計 15 名が参加した。

(2) 土砂災害の予知・軽減新技術に関するアジア・太平洋シンポジウムの開催

平成 21 年 11 月 18-19 日に土砂災害の予知・軽減新技術に関するアジア・太平洋シンポジウムを東京砂防会館にて開催し、海外から 12 名の研究者・技術者招聘した。開催にあたり、日本学術振興会 (JSPS) 機動的国際交流事業の競争的資金獲得した。参加者は国内から 104 名、海外から 20 名で、シンポジウム研究発表概要集 (Pub. No.55) を刊行した。また、本シンポジウムと関連し、Asia-Pacific Network of Sediment Disaster Information and Research の設立準備を進めた。

(3) 日中地震による土砂災害対策に関するシンポジウム

平成 22 年 1 月 22 日 (金) に砂防会館別館において、日中地震による土砂災害対策に関するシンポジウムを開催し、日本側・中国側の研究者による調査報告およびパネルディスカッションをおこなった。41 名 (中国側 3 名を含む) の参加があった。

(4) 英文誌特集号 (電子体および印刷体) の編集

土砂災害の予知・軽減新技術に関するアジア・太平洋シンポジウムに関連した、砂防学会誌英文誌の編集・刊行準備を進めた。

(5) 海外砂防セミナー及び視察への協賛

(社) 全国治水砂防協会の主催による海外砂防セミナー及び視察に協賛し、平成 21 年 10 月 18 日から 24 日の日程でオーストリアの土砂災害現場の視察を行った。

(6) 各種国際会議の案内

各種国際会議の案内を砂防学会誌 Vol.62No.1~No.6 号に掲載した。

### III. 事業活動

(1) 出版

- 1) 砂防学会誌 Vol.62 No.1~No.6 までの 6 冊を刊行した。
- 2) 平成 21 年度砂防学会研究発表会概要集 (Pub. No.52) を刊行した。
- 3) 第 41 回(社)砂防学会シンポジウム講演集 (Pub. No.53) を刊行した。
- 4) 平成 21 年 11 月に、砂防技術総覧を発刊し、学会ホームページにも掲載した。
- 5) 平成 21 年度研究発表会概要集の PDF 化を実施した。

(2) 講習会、現地検討会の開催

(財) 建設技術研究所 (つくば市) との共催で砂防水理模型実験に関する講習会を平成 21 年 10 月 22 日 (木) に開催し、参加者は 28 名であった。11 月 24 日 (火) に長崎県島原市 (水無川, 中尾川) において雲仙普賢岳噴火後の火山砂防事業の展開についての現地検討会を開催し、9 名の参加があった。平成 21 年 12 月 8 日 (火) には砂防会館別館において 6 名の講師による「流域の土砂動態モニタリング」の講習会を開催し、40 名の参加があった。

(3) SAYER 会の開催

砂防学会の若手技術者が自由に議論・意見交換できる場として設立された SAYER 会の会合を関東地区 (平成 21 年 7 月 17 日)、関西地区 (平成 21 年 8 月 4 日) にて開催した。これらの内容は学会誌と学会ホームページで報告した。

(4) 「気候変化が土砂災害に及ぼす影響に関する研究委員会」を設置

藤田正治委員長のもと、参加委員の指名および公募等を行い、6分科会を設置し、研究活動を開始した。平成21年度の成果については、平成22年度砂防学会研究発表会で報告することにした。

(5) 公募研究の審査と実施

平成21年度開始(23年度まで)の公募研究会助成として「流砂のメカニズムに関する研究会」(代表者:宮本邦明)を採択し研究活動を開始した。

(6) 砂防技術研究会の成果報告会

砂防技術研究会の最終成果を22年度学会発表会の企画セッション「大規模崩壊現象とその対策手法について」-砂防技術研究会共同研究(第2回)の成果より-において報告することにした。

(7) 調査・研究の実施

1) 災害緊急調査

国内外の土砂災害について災害調査委員会を結成し調査団を派遣した。山口県防府市の土砂災害に係る緊急災害調査団(古川浩平団長)による調査結果を9月号砂防学会誌に報告した。台風8号による台湾の土砂災害に関する砂防学会調査団(宮本邦明団長)を平成21年12月21日から30日の日程で派遣し、調査結果を平成22年2月22日に土木学会との合同報告会で報告した。

2) 受託研究調査

① 「土砂災害が発生するおそれがある土地の区域等」の設定に関する検討業務

(財) 砂防フロンティア整備推進機構

② 自然環境の変化が流域の土砂災害・流出環境に及ぼす影響に関する研究

(社) 全国治水砂防協会

③ 流域における土砂移動実態の追跡に関する研究

(財) 砂防・地すべり技術センター

④ 台風8号により発生した台湾における土砂災害に関する調査・研究業務委託

(財) 河川環境管理財団

3) 河川整備基金助成事業の実施

平成20年度から継続して、2008年6月岩手・宮城内陸地震により発生した大規模土砂災害に関する調査・研究を実施した。

(8) 表彰

1) 平成21年度「砂防学会賞」受賞者を総会において表彰した。

・論文賞(該当なし)

・論文奨励賞

受賞者:千葉 幹 会員

対象論文:(研究ノート)平成18年台風14号により宮崎県耳川で発生した天然ダムの決壊過程と天然ダムに対する警戒避難のあり方に関する研究,砂防学会誌60(1),43-47,2007

・砂防技術賞

受賞者：小杉 賢一朗、山川 陽祐、正岡 直也、梅川 豊文 会員

対象事業：土壌水分計付貫入計（CPMP）の開発と改良

2) 平成 22 年度「砂防学会賞」受賞者を決定した。

・論文賞

受賞者：南里 智之 会員

対象論文：現地野外データ解析にもとづく 1926 年十勝岳大正泥流の流下・氾濫堆積過程に関する研究. 砂防学会誌、Vol.61、No.5、pp.21-30、2009

・論文奨励賞

受賞者：近藤玲次 会員

対象論文：流砂の実態把握を目的とした安倍川上流大谷川支流域における洪水時全流砂量観測. 砂防学会誌、Vol.60、No.5、pp.15-22、2008

受賞者：中谷洋明 会員

対象論文：ハイドロフォン観測による小規模出水時の流砂量の統計解析. 砂防学会誌、Vol.61、No.5、pp.4-11、2009 年 1 月

ハイドロフォンシステムの流砂捕捉率に対する流量の影響に関する事例検討. 砂防学会誌、Vol.61、No.4、pp.12-20、2008 年 11 月

手取川上流域でのハイドロフォンを用いた流砂量観測及び解析. 砂防学会誌、Vol.60、No.3、pp.20-25、2007

・砂防技術賞

受賞者：中谷加奈、里深好文、水山高久、和田孝志 会員

対象事業：GUI を実装した土石流一次元シミュレータの開発

(9) 平成 22 年度の若手研究助成

若手研究助成の公募を行い、1 課題を採択した。(課題名、代表者名)

「凍結融解による風化基岩からの土砂生産量と流出量の定量的観測」

代表： 泉山 寛明 (京都大学大学院工学研究科)

(10) 平成 22 年度の公募研究会

22 年度開始研究会の公募を行い、1 課題を採択した。(研究会名、代表者名、研究期間)

「衛星砂防学研究会」(代表者：奈佐原顕郎、平成 22 年度～24 年度) を採択した。

また、21 年度採択の 1 課題を継続する。

(11) 情報提供

砂防学会ホームページの管理・更新、メーリングリストの運営を行った。

(12) 砂防図書館の運営

当学会、(社)全国治水砂防協会、(財)砂防・地すべり技術センター、(財)砂防フロンティア整備推進機構、NPO 法人砂防広報センター、(社)斜面防災対策技術協会の 6 団体共同事業として、砂防に関する図書及び諸資料を収集、整理し砂防関係者等の調査研究と閲覧に供した。

(13) 砂防学会誌の電子化について

科学技術振興機構の運営する J-Stage アーカイブに採択され、砂防学会誌 0 号から 278 号までが電子アーカイブ化された。

#### IV. 砂防学会の運営事項

##### (1) 会議の開催

###### 1) 総会

平成 21 年 5 月 27 日広島県・広島市「広島アステールプラザ」において通常総会を開催した。出席者および委任状提出者は計 1156 名（定款 23 条による定足数は 1083 名）で総会は成立した。

議案：平成 20 年度事業報告  
平成 20 年度収支決算報告  
平成 21 年度事業計画(案)  
平成 21 年度収支予算(案)

平成 21 年度砂防学会賞授与

###### 2) 理事会

第 1 回 平成 21 年 5 月 26 日（広島県広島市）

議案：平成 20 年度事業報告  
平成 20 年度収支決算報告  
平成 21 年度事業計画(案)  
平成 21 年度収支予算(案)  
公益社団法人移行について審議  
研究会の募集について審議  
国際交流事業計画について審議

第 2 回 平成 21 年 11 月 4 日（岩手県一関市）

議案：公益法人化による定款改定の案  
平成 21 年度公募研究会について  
平成 22 年度研究会及び若手研究助成の公募  
砂防技術研究会について

第 3 回 平成 22 年 3 月 26 日（東京都千代田区）

議案：平成 21 年度収支決算（見込み）  
平成 22 年度事業計画（案）及び収支予算（案）  
平成 22 年度シンポジウム実行委員会設置  
平成 21 年度砂防学会賞選考結果

###### 3) 部会長・幹事会会議

第 1 回 平成 21 年 10 月 20 日（東京都千代田区）

議案：第 2 回理事会に付議する議案の審議

第 2 回 平成 22 年 3 月 23 日（東京都千代田区）

議案：第 3 回理事会に付議する議案の審議

###### 4) 新公益法人化対応委員会

第 1 回委員会（平成 21 年 7 月 31 日）：公益法人改革への対応の基本方針、申請までのスケジュールと課題を検討した。

ワーキングの開催（平成 21 年 9 月 3 日）：総務部会、経理部会、事務局の三者で定款改

定素案、新公益法人改革への対応方針案、現行の事業活動費の公益性、目的事業等の分類案を検討した。

第2回委員会（平成21年9月28日）：砂防学会定款改定案について協議した。

第3回委員会（平成22年2月3日）：砂防学会定款改定案について協議した。

5) 役員の改選に係る委員会の開催

第31期役員候補者推薦委員会（平成22年2月12日，東京都）

第31期選挙管理委員会（第1回，平成22年2月17日，東京都）

第31期選挙管理委員会（第2回，平成22年4月14日，東京都）

6) 平成21年度「砂防学会賞」選考委員会の開催

平成22年2月8日（東京都砂防会館），平成22年度砂防学会賞受賞候補者を選考した。

(2) その他の会議

1) 広報検討委員会（学会ホームページワーキンググループ）

随時電子メール等による電子会議を開催し，学会誌・研究発表会講演集に発表された災害情報についてデータベース化を図った。

2) 研究開発部会：砂防技術研究会の運営、若手研究助成及び公募研究会の募集・審査、災害緊急調査の派遣、気候変化委員会の設置及び実施、平成22年度砂防学会シンポジウムテーマ、22年度研究発表会の企画セッションのテーマ等を検討し提案した。

3) 編集部会・編集委員会（和文誌）：投稿原稿の確認及び原稿処理状況報告、掲載原稿の決定、編集及び査読体制を検討した。

編集委員会（英文誌）：一般投稿原稿の募集、掲載原稿を決定した。

4) 国際部会：平成21年度は、国際シンポジウムの準備委員会を含め7回開催。2009年11月18日～19日に国際シンポジウムを開催した。また各種国際会議情報の提供、海外砂防セミナーへの協賛を行った。

5) 事業部会：随時電子会議を開催。SAYER会開催準備、砂防水理模型実験講習会・学会誌の特集号に関する講習会・現地検討会の開催準備、砂防技術総覧の発刊、日中地震による土砂災害対策に関するシンポジウムの開催準備、平成21年度研究発表会概要集のPDF化についての協議、平成22年度事業計画等を検討した。

6) 経理部会：総務部会と合同で砂防学会費講座自動引落作業を行った。会計処理規程（案）を作成した。

7) 総務部会：新公益法人化に向けた情報収集と定款改訂案を作成し，学会ホームページに掲載した。

8) 砂防技術研究会：22年度砂防学会研究発表会企画セッションで第2回共同研究の成果を発表。第2回共同研究以降のあり方を検討した。

貸借対照表総括表  
平成 22 年 3 月 31 日現在(決算)

科目	一般事業	受託事業	内部取引消去	合計
<b>I 資産の部</b>				
流動資産				
現金預金	17,993,909	21,252,672	0	39,246,581
未収金	10,085,833	76,000	7,817,633	2,344,200
未収収益		10,563,000		10,563,000
流動資産合計	28,079,742	31,891,672	7,817,633	52,153,781
固定資産				
基本財産				
普通預金	30,000,000			30,000,000
基本財産合計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	4,099,587			4,099,587
減価償却引当資産	684,644			684,644
学術国際協力事業積立資産	18,000,000			18,000,000
特定資産合計	22,784,231	0	0	22,784,231
その他固定資産				
什器備品	13,980			13,980
その他固定資産合計	13,980	0	0	13,980
固定資産合計	52,798,211	0	0	52,798,211
資産合計	80,877,953	31,891,672	7,817,633	104,951,992
<b>II 負債の部</b>				
流動負債				
未払金	7,141,566	10,635,310	7,817,633	9,959,243
前受金	2,806,000			2,806,000
預り金	127,369	80,800		208,169
未払法人税等		237,000		237,000
未払消費税等	360,800			360,800
流動負債合計	10,435,735	10,953,110	7,817,633	13,571,212
固定負債				
退職給付引当金	4,099,587			4,099,587
固定負債合計	4,099,587	0	0	4,099,587
負債合計	14,535,322	10,953,110	7,817,633	17,670,799
<b>III 正味財産の部</b>				
一般正味財産	66,342,631	20,938,562	0	87,281,193
(うち基本財産への充当額)	30,000,000			30,000,000
正味財産合計	66,342,631	20,938,562	0	87,281,193
負債及び正味財産合計	80,877,953	31,891,672	7,817,633	104,951,992



正味財産増減計算書総括表  
平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日(決算)まで

科目	一般事業	受託事業	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
經常増減の部				
經常収益				
受取会費	20,649,000	0	0	20,649,000
正会員受取会費	14,021,000			14,021,000
学生会員受取会費	138,000			138,000
賛助会員受取会費	6,490,000			6,490,000
事業収益	5,806,181	26,733,000	0	32,539,181
出版事業収益	5,806,181			5,806,181
受託事業収益		26,733,000		26,733,000
受取補助金等	1,690,000	0	0	1,690,000
受取民間助成金	1,690,000			1,690,000
雑収益	43,279	0	0	43,279
受取利息	43,279			43,279
經常収益計	28,188,460	26,733,000	0	54,921,460
經常費用				
事業費	27,855,214	18,412,382	0	46,267,596
給料手当		938,700		938,700
旅費交通費		7,531,543		7,531,543
通信運搬費		41,000		41,000
支払手数料		61,258		61,258
消耗品費		3,103,678		3,103,678
会議費		399,154		399,154
印刷製本費		738,449		738,449
保険料		38,600		38,600
諸謝金		5,116,000		5,116,000
租税公課		32,400		32,400
委託費		411,600		411,600
研究開発部	690,534			690,534
編集部	467,725			467,725
国際部	381,819			381,819
事業部	98,500			98,500
総務部	237,744			237,744
広報検討委員会	297,444			297,444
出版事業費	12,372,721			12,372,721
図書館運営費	1,100,000			1,100,000
研究費	10,933,717			10,933,717
表彰制度運営費	270,158			270,158
会員名簿作成費	1,004,852			1,004,852
管理費	7,701,025	7,868,063	0	15,569,088
給料手当	3,388,162	3,423,583		6,811,745
退職給付費用	550,000			550,000
福利厚生費	319,129	322,464		641,593

会議費	123,037	124,322		247,359
旅費交通費	578,964	585,016		1,163,980
通信運搬費	200,315	202,408		402,723
減価償却費	6,983			6,983
支払手数料	971,422	981,576		1,952,998
消耗品費	80,659	81,502		162,161
印刷製本費	54,996	55,569		110,565
光熱水料費	14,744	14,898		29,642
賃借料	1,190,778	1,203,225		2,394,003
租税公課	82,800	873,500		956,300
役員改選費	139,036			139,036
経常費用計	35,556,239	26,280,445	0	61,836,684
当期経常増減額	△ 7,367,779	452,555	0	△ 6,915,224
経常外増減の部				
経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,367,779	452,555	0	△ 6,915,224
一般正味財産期首残高	73,710,410	20,486,007	0	94,196,417
一般正味財産期末残高	66,342,631	20,938,562	0	87,281,193
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	66,342,631	20,938,562	0	87,281,193

財 産 目 録

平成 22 年 3 月 31 日決算

法人名：社団法人砂防学会

事業名：事業全体

科 目		金	額
<b>I 資 産 の 部</b>			
流 動 資 産			
現 金 預 金			
現 金	現金手元有高	36,721	
郵 便 振 替	ゆうちょ銀行都道府県会館内郵便局	4,316,360	
郵 便 貯 金	ゆうちょ銀行都道府県会館内郵便局	478,834	
普 通 預 金	みずほ銀行 麴町支店	1,553,103	
	三菱東京UFJ銀行 麴町支店	22,861,563	
定 期 預 金	三菱東京UFJ銀行 麴町支店	10,000,000	
未 収 金	共通管理費負担金（内部振替）	7,817,633	
	砂防学会誌 広告料	1,789,200	
	砂防学会誌 別刷 刊行物代金	555,000	
未 収 収 益	勸砂防・地すべり技術センター	7,959,000	
	勸河川環境管理財団	2,604,000	
流 動 資 産 合 計			59,971,414
固 定 資 産			
基 本 財 産			
普 通 預 金	三菱東京UFJ銀行 麴町支店	30,000,000	
基 本 財 産 合 計		30,000,000	
特 定 資 産			
退 職 給 付 引 当 資 産	三菱東京UFJ銀行 麴町支店	4,099,587	
減 価 償 却 引 当 資 産	三菱東京UFJ銀行 麴町支店	684,644	
学 術 国 際 協 力 事 業 積 立 資 産	三菱東京UFJ銀行 麴町支店	18,000,000	
特 定 資 産 合 計		22,784,231	
そ の 他 固 定 資 産			
什 器 備 品	事務局パソコン等	13,980	
そ の 他 固 定 資 産 合 計		13,980	
固 定 資 産 合 計			52,798,211
資 産 合 計			112,769,625
<b>II 負 債 の 部</b>			
流 動 負 債			
未 払 金			
	共通管理費負担金（内部振替）	7,817,633	
	学術国際交流事業積立金取得支出	3,000,000	
	受託事業研究調査費	2,893,677	
	出版事業費	2,618,175	
	その他事業費	1,164,054	
	その他管理費	283,337	
前 受 金	平成22年度分会費収入	2,806,000	
預 り 金	源泉所得税等	208,169	
未 払 法 人 税 等	法人税等21年度確定税額	237,000	
未 払 消 費 税 等	消費税等21年度確定税額	360,800	
流 動 負 債 合 計			21,388,845
固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	21年度期末要支給額	4,099,587	
固 定 負 債 合 計			4,099,587
負 債 合 計			25,488,432
正 味 財 産			87,281,193

## 財務諸表に対する注記

法人名：社団法人砂防学会  
事業名：事業全体

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成16年10月14日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ）を採用している。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっている。

#### (3) 引当金の計上基準

##### 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づいて計上している。

#### (4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 会計方針の変更

該当なし

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	3,549,587	550,000	0	4,099,587
減価償却引当資産	677,661	6,983	0	684,644
学術国際協力事業積立資産	18,000,000	3,000,000	3,000,000	18,000,000
合 計	52,227,248	3,556,983	3,000,000	52,784,231

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
普通預金	30,000,000	( 0)	( 30,000,000)	( 0)
小 計	30,000,000	( 0)	( 30,000,000)	( 0)
特定資産				
退職給付引当資産	4,099,587	( 0)	( 4,099,587)	( 4,099,587)
減価償却引当資産	684,644	( 0)	( 684,644)	( 0)
学術国際協力事業積立資産	18,000,000	( 0)	( 18,000,000)	( 0)
合 計	52,784,231	( 0)	( 52,784,231)	( 4,099,587)

### 5. 担保に供している資産

該当なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	698,624	684,644	13,980
合 計	698,624	684,644	13,980

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
未収金	2,344,200	0	2,344,200
未収収益	10,563,000	0	10,563,000
合 計	12,907,200	0	12,907,200

8. 保証債務等の偶発債務

該当なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等 の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
河川整備基金	財団法人 河川環境 管理財団	0	1,690,000	1,690,000	0	—
合 計		0	1,690,000	1,690,000	0	

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他

該当なし

(参考)

## 平成 21 年度 収 支 計 算 書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額 (a)	決算額 (b)	増減 (a)-(b)	備 考
I 事業活動の部				
事業活動収入				
1. 基本財産運用収入	0	0	0	
基本財産運用収入	0	0	0	
2. 会費収入	21,250,000	20,649,000	601,000	
正会員会費収入	14,380,000	14,021,000	359,000	
学生会員会費収入	170,000	138,000	32,000	
賛助会員会費収入	6,700,000	6,490,000	210,000	
3. 事業収入	27,000,000	32,539,181	△ 5,539,181	
出版事業収入	7,000,000	5,806,181	1,193,819	
受託事業収入	20,000,000	26,733,000	△ 6,733,000	
4. 補助金等収入	1,690,000	1,690,000	0	
5. 雑収入	47,000	43,279	3,721	
受取利息	47,000	43,279	3,721	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	49,987,000	54,921,460	△ 4,934,460	
II 事業活動支出				
1. 事業費支出	43,220,000	46,267,596	△ 3,047,596	
出版事業費	14,500,000	12,372,721	2,127,279	
受託事業(研究調査費)支出	12,000,000	18,412,382	△ 6,412,382	
研究費	11,190,000	10,933,717	256,283	
ワークショップ等	2,400,000	2,404,812	△ 4,812	
総会・研究発表運営費	2,000,000	2,293,639	△ 293,639	
シンポジウム運営費	1,500,000	618,023	881,977	
他学会協力	600,000	639,700	△ 39,700	
国際シンポ開催運営支出	3,000,000	3,283,319	△ 283,319	
研究助成研究費	1,690,000	1,694,224	△ 4,224	
図書館運営費	1,100,000	1,100,000	0	
部会活動費	2,880,000	2,173,766	706,234	
研究開発部	700,000	690,534	9,466	
編集部	750,000	467,725	282,275	
国際部	400,000	381,819	18,181	
事業部	300,000	98,500	201,500	
総務部	500,000	237,744	262,256	
JABEE 等対応委員会	10,000	0	10,000	
広報委員会	220,000	297,444	△ 77,444	
表彰制度運営費	350,000	270,158	79,842	
会員名簿作成費	1,200,000	1,004,852	195,148	
2. 管理費	14,780,000	15,012,105	△ 232,105	

人件費	6,960,000	7,453,338	△ 493,338
管理諸費	7,820,000	7,558,767	261,233
事業活動支出計	58,000,000	61,279,701	△ 3,279,701
事業活動収支差額	△ 8,013,000	△ 6,358,241	△ 1,654,759
II 投資活動収支の部			
投資活動収入			
特定資産取崩収入	3,000,000	3,000,000	0
学術国際交流事業積立資金取崩収入	3,000,000	3,000,000	0
投資活動収入計	3,000,000	3,000,000	0
投資活動支出			
特定資産取得支出	3,557,000	3,556,983	17
退職給与引当資産取得支出	550,000	550,000	0
減価償却引当資産取得支出	7,000	6,983	17
国際交流積立金支出	3,000,000	3,000,000	0
投資活動支出計	3,557,000	3,556,983	17
投資活動収支差額	△ 557,000	△ 556,983	△ 17
当期収支差額	△ 8,570,000	△ 6,915,224	△ 1,654,776
前期繰越収支差額	45,497,793	45,497,793	0
次期繰越収支差額	36,927,793	38,582,569	△ 1,654,776

## 平成 22 年度 事業計画(案)

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

### 基本方針

砂防に関する研究および調査を推進することにより、広く土砂災害に関する防災科学技術の振興を図り、国土の保全、環境の創出、国民生活の安全等に寄与することを目的とする。

平成 22 年度においては、以下の事業を推進する。

- (1) 砂防に関する研究及び調査並びにその奨励と普及
- (2) 研究に関する研究及び調査の助成
- (3) 砂防に関する研究発表会、講演会、講習会等の開催及び見学視察等の実施
- (4) 砂防に関する建議並びに諮問に対する答申
- (5) 会誌及び砂防に関する図書、報論文、資料等の刊行
- (6) 砂防関係図書及び資料の収集・保管・公開
- (7) 砂防の発展に資する学術国際交流
- (8) 砂防技術者の育成
- (9) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

### 事業計画

#### 1. 研究活動

- (1) 総会並びに研究発表会

平成 22 年度通常総会	5 月 26 日	長野市
研究発表会	5 月 26、27 日	同上
現地研修会	5 月 29 日	長野市周辺など

- (2) シンポジウム

第 42 回 (社) 砂防学会シンポジウム	10 月 27 日	防府市
現地研修会	10 月 28 日	防府市周辺

- (3) 「若手研究助成」による研究技術開発とワークショップ活動の助成
- (4) 気候変化が土砂災害におよぼす影響に関する研究委員会の実施
- (5) 「公募研究会」による研究会活動の助成

#### 2. 国際学術交流

- (1) 砂防学会研究発表会時に国際交流座談会を実施する。
- (2) 各種国際会議の協賛と最新情報を砂防学会誌に掲載する。

#### 3. 事業活動

- (1) 出版



- 1) 砂防学会誌 Vol.63 No.1～No.6 までの6冊と英文誌特別号（電子体）を刊行する。
  - 2) 平成22年度砂防学会研究発表会概要集をPDF化し、HPに掲載する。
  - 3) 第42回(社)砂防学会シンポジウム講演集を刊行する。
  - 4) 砂防技術総覧の原稿を募集し追加する。
  - 5) 調査・研究等の成果報告書を刊行する。
- (2) 砂防に関する講演会・研究集会の企画・開催
- 1) 砂防水理模型実験講習会の開催
  - 2) 現地検討会の開催
  - 3) SAYAR会の開催
  - 4) 「土砂災害対策施設とその効果」に関する講習会の開催
  - 5) 技術士継続教育（CPD）への支援
- (3) 調査・研究
- 1) 受託研究の実施
  - 2) 災害調査の実施
- (4) 表彰
- 1) 平成22年度砂防学会賞（「論文賞」、「論文奨励賞」、「砂防技術賞」）受賞者の表彰
  - 2) 平成23年度砂防学会賞（「論文賞」、「論文奨励賞」、「砂防技術賞」）受賞者の決定
- (5) 公益社団法人移行への取組み
- 1) 公益社団法人移行にともなう定款の改定
  - 2) 理事会での定款の審議
  - 3) 情報収集及び公益社団法人認定申請関係書類の作成
4. 砂防図書・資料の保管整備、砂防図書館の充実
5. 広報委員会活動として、会員増に向けての対応、学会活動の充実、学会ホームページ、メーリングリストなどインターネットを通じた情報交換の促進に取り組む。

平成22年度 収支予算書  
平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額 (a)	前年度予算額 (b)	増 減 (a)-(b)	備 考
I 事業活動の部				
事業活動収入				
1. 基本財産運用収入	0	0	0	
基本財産運用収入	0	0	0	
2. 会費収入	20,590,000	21,250,000	△ 660,000	
正会員会費収入	13,870,000	14,380,000	△ 510,000	
学生会員会費収入	210,000	170,000	40,000	
賛助会員会費収入	6,510,000	6,700,000	△ 190,000	
3. 事業収入	27,510,000	27,000,000	510,000	
出版事業収入	5,000,000	7,000,000	△ 2,000,000	
研究発表会開催収入	0	0	0	
シンポジウム開催収入	2,450,000	0	2,450,000	
講習会等開催収入	60,000	0	60,000	
受託事業収入	20,000,000	20,000,000	0	
4. 補助金等収入	0	1,690,000	△ 1,690,000	
5. 雑収入	50,000	47,000	3,000	
受取利息	50,000	47,000	3,000	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入合計	48,150,000	49,987,000	△ 1,837,000	
1. 事業費支出	36,870,000	43,220,000	△ 6,350,000	
出版事業費	12,500,000	14,500,000	△ 2,000,000	
受託事業(研究調査費)支出	12,000,000	12,000,000	0	
研究発表会等開催支出	4,010,000	0	4,010,000	
研究発表会	0	0	0	
シンポジウム	3,950,000	0	3,950,000	
講習会	60,000	0	60,000	
研究費支出	2,600,000	11,190,000	△ 8,590,000	
ワークショップ等	2,100,000	2,400,000	△ 300,000	
総会・研究発表会負担	0	2,000,000	△ 2,000,000	
シンポジウム負担	0	1,500,000	△ 1,500,000	
他学会協力	500,000	600,000	△ 100,000	
国際シンポジウム開催運営支出	0	3,000,000	△ 3,000,000	
研究助成研究費	0	1,690,000	△ 1,690,000	
図書館運営費	1,100,000	1,100,000	0	
部会活動費	4,160,000	2,880,000	1,280,000	
研究開発部	900,000	700,000	200,000	
編集部	750,000	750,000	0	
国際部	500,000	400,000	100,000	
事業部	400,000	300,000	100,000	
総務部	1,300,000	500,000	800,000	
JABEE 等対応委員会	10,000	10,000	0	
広報委員会	300,000	220,000	80,000	

表彰制度運営費	450,000	350,000	100,000
会員名簿作成費	50,000	1,200,000	△ 1,150,000
2. 管理費	15,000,000	14,780,000	220,000
人件費	7,400,000	6,960,000	440,000
管理諸費	7,600,000	7,820,000	△ 220,000
事業活動支出計	51,870,000	58,000,000	△ 6,130,000
事業活動収支差額	△ 3,720,000	△ 8,013,000	4,293,000
II 投資活動収支の部			
投資活動収入	0	0	0
特定資産取崩収入	0	0	0
学術国際交流事業積立資金取崩収入	0	3,000,000	△ 3,000,000
投資活動収入計	0	3,000,000	△ 3,000,000
投資活動支出			
特定資産取得支出	627,000	3,557,000	△ 2,930,000
退職給与引当資産取得支出	620,000	550,000	70,000
減価償却引当資産取得支出	7,000	7,000	0
国際交流積立金支出	0	3,000,000	△ 3,000,000
投資活動支出計	627,000	3,557,000	△ 2,930,000
投資活動収支差額	△ 627,000	△ 557,000	△ 70,000
当期収支差額	△ 4,347,000	△ 8,570,000	4,223,000
前期繰越収支差額	38,582,569	45,497,793	△ 6,915,224
次期繰越収支差額	34,235,569	36,927,793	△ 2,692,224

### 第 31 期 社団法人砂防学会役員名簿

(役職)	(氏名)	(所属)
理事	石川 芳治	東京農工大学
〃	井良沢道也	岩手大学
〃	岡本 正男	(社) 全国治水砂防協会
〃	小川紀一朗	アジア航測 (株)
〃	海堀 正博	広島大学
〃	川邊 洋	新潟大学
〃	木村 正信	岐阜大学
〃	久保田哲也	九州大学
〃	後藤 宏二	関東地方整備局
〃	近藤 浩一	(財) 砂防・地すべり技術センター
〃	笹原 克夫	高知大学
〃	佐藤 一幸	国土交通省
〃	三森 利昭	独立行政法人森林総合研究所
〃	下川 悦郎	鹿児島大学
〃	下田 義文	八千代エンジニアリング (株)
〃	鈴木 雅一	東京大学
〃	大丸 裕武	独立行政法人森林総合研究所
〃	土屋 智	静岡大学
〃	寺田 秀樹	国土技術政策総合研究所
〃	長井 隆幸	長野県
〃	原 義文	独立行政法人土木研究所
〃	平松 晋也	信州大学
〃	藤田 正治	京都大学
〃	松村 和樹	京都府立大学
〃	丸谷 知己	北海道大学
〃	水山 高久	京都大学
〃	宮本 邦明	筑波大学
〃	森 俊勇	(財) 砂防フロンティア整備推進機構
〃	山田 孝	三重大学
〃	由田 幸雄	(社) 日本治山治水協会
監事	網倉 孝	神奈川県
〃	万膳 英彦	(株) 建設技術研究所

## 平成 22 年度砂防学会賞受賞者業績

「砂防学会賞」選考委員会

### 論文賞：南里智之 会員（北海道建設部土木局砂防災害課）

対象論文：南里智之・福岡博史・原田憲邦・安藤裕志・伊藤英之・栢木敏仁・山田 孝：現地野外データ解析にもとづく 1926 年十勝岳大正泥流の流下・氾濫堆積過程に関する研究（砂防学会誌、第 61 巻 5 号、2009 年 1 月）

### 論文奨励賞：近藤玲次 会員（(財)砂防・地すべり技術センター）

対象論文：近藤玲次・栢木敏仁・安田勇次・土屋 智：流砂の実態把握を目的とした安倍川上流大谷川支流域における洪水時全流砂量観測（砂防学会誌、第 60 巻 5 号、2008 年 1 月）

### 論文奨励賞：中谷洋明 会員（国土交通省北陸地方整備局（現：外務省））

対象論文①：中谷洋明：ハイドロフォン観測による小規模出水時の流砂量の統計解析（砂防学会誌、第 61 巻 5 号、2009 年 1 月）

対象論文②：中谷洋明：ハイドロフォンシステムの流砂捕捉率に対する流量の影響に関する事例検討（砂防学会誌、第 61 巻 4 号、2008 年 11 月）

対象論文③：中谷洋明・鶴田謙次・吉村暢也：手取川上流域でのハイドロフォンを用いた流砂量観測及び解析（砂防学会誌、第 60 巻 3 号、2007 年 9 月）

**砂防技術賞：中谷加奈 会員（京都大学大学院農学研究科博士課程）、里深好文 会員（立命館大学理工学部教授）、水山高久 会員（京都大学大学院農学研究科教授）、和田孝志 会員（(株)ニュージェック）**

対象業績：GUI を実装した土石流一次元シミュレータの開発